

# 地球温暖化防止と 自然エネルギー



豊中市環境情報サロン「エコSUN市民発電」



地球温暖化が進行する中、CO<sub>2</sub>をはじめとする温室効果ガスの排出削減が急がれています。

これまでの主力エネルギー源である石油、石炭、天然ガスなどの化石燃料エネルギーに代わり、地球環境に負荷をかけない、太陽光発電、風力発電、バイオマスをはじめとする『自然エネルギー』が大きな注目を集めています。

太陽光発電・太陽熱利用などの自然エネルギーとはどのようなものかを知り、これからの未来に向けて私たちにできることを一緒に考えていきませんか。



## ●講師 和田 武 さん

元 立命館大学教授、工学博士

1941年 和歌山市生まれ。京都大学工学部卒、京都大学大学院工学研究科修士課程修了。住友化学工業(株)中央研究所、愛知大学などを経て立命館大学産業社会学部教授、同特別招聘教授(2008年3月退職)。現在、「自然エネルギー市民の会」代表など。専門は環境保全論、資源エネルギー論。日本やドイツなどを中心に現地調査を踏まえて研究している。

著書に、『地球環境論』、『新・地球環境論』、『地球環境問題入門』、『飛躍するドイツの再生可能エネルギー』(2008年6月出版予定)ほか、共編『市民・地域が進める地球温暖化防止』など多数。



入場無料

日時 平成20年(2008年)6月20日(金)

13時30分～14時30分

場所 豊中市立市民会館大集会室

## ●プログラム

13:30～ 講演会「地球温暖化防止と自然エネルギー」  
講師 和田 武さん(元立命館大学教授、工学博士)

14:40～ とよなか市民環境会議総会

15:20～ NPO法人とよなか市民環境会議アジェンダ21 総会(議決権は会員のみ)



●主催：とよなか市民環境会議

●問合せ：豊中市環境部環境政策室 電話06-6858-2128 / FAX 06-6842-2802

(E-mail) kankyoukeikaku@city.toyonaka.osaka.jp